

動画は
コチラ

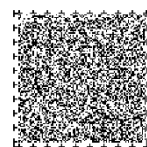


樹木でつなぐ現庁舎と新庁舎

～みんなでつくる、まちのみどり～

「けやき等の木を活かすワークショップ」
レポート

～世田谷区本庁舎等整備事業～



はじめに

世田谷区役所本庁舎(第一庁舎)および世田谷区民会館は、完成から60年以上が経過し、災害対策や区民サービス面、環境性能面などで様々な課題を抱えており、世田谷区では、2004年から本庁舎等整備の検討を進めてきました。

様々な議論を経て、2016年に基本構想、2019年に基本設計、2020年に実施設計をまとめ、2021年7月からは、本庁舎等整備工事を開始しました。

本庁舎等整備では、樹木を保全・再生・発展させる計画としています。例えば、活力のあるケヤキは残し、伐採せざるを得ないケヤキについては、同じ本数のケヤキを新たに植樹します。

また、新庁舎東棟の外壁をセットバックさせ、次世代を担うケヤキを新植し、ケヤキ並木を敷地北側まで延伸することや、建物屋上に緑化空間を整備するなど、敷地全体、建物全体でみどりに親しめる環境を整備します。

ケヤキ並木の延伸



- 1…新庁舎東側のケヤキ並木の植替え・残置するケヤキの位置図
 - 2…新庁舎等の俯瞰図※
 - 3…新庁舎等竣工後のケヤキ並木のイメージ※
- ※実施設計概要をもとに作成しており、色彩やデザイン等は今後変更することがあります。

目次

けやき等の木を活かす取組み … P2

苗木採取ワークショップ①(6/5開催) … P3,4

一輪挿しワークショップ③(10/30開催) … P7

活用樹木(東敷地) … P2

製材ワークショップ②(6/19開催) … P5,6

中庭広場のケヤキを移植しました … P8

けやき等の木を活かす取組み

工事に先立ち、工事エリア内の樹木を診断した結果、状態が悪く、残存させることが困難な樹木や移植の難しい樹木等について、伐採・処分するだけでなく、新庁舎で活用・再利用すべく、区民ワークショップを実施しました。

今回実施した「けやき等の木を活かすワークショップ※1」では、伐採した樹木を活用・再利用するプロセスにおいて、製材作業、苗木採取を、区民参加のもと、実施しました。

今後、製材・加工した樹木を家具等に制作し、新庁舎等に設置するとともに、採取した苗木は、参加者に育ててもらい、新庁舎に継承していくことも考えています。

ワークショップの参加者は、公募や無作為抽出により募集した結果、100名を超える応募をいただいたため、抽選のうえで、約30名※2の方を選出しました。参加者は親子連れや高齢者など、幅広い年齢層の方に参加いただきました。

※1 第1回 苗木採取ワークショップ(6/5) 第2回 製材ワークショップ(6/19)

※2 子ども14名(小学生12名、未満児2名) 大人17名(30歳代1名、40歳代11名、50歳代1名、70歳代2名、他)

講師

都市森林株式会社
湧口 善之

街の木を活かした木工品や空間づくりをはじめ、街の木と人々が触れ合える機会を増やし、「木があつてよかった」を最大化する取組みを多角的に実践されています。

〔主な実績〕

- 東京都調布市 Cafe aona
- 東京都町田市 グランベリーパーク
パークライフ棟まちライブラリー
- 神奈川県大和市 久田緑地
(公財)かながわトラスみどり財団
「森からの贈り物プロジェクト」 など

全体の取組み

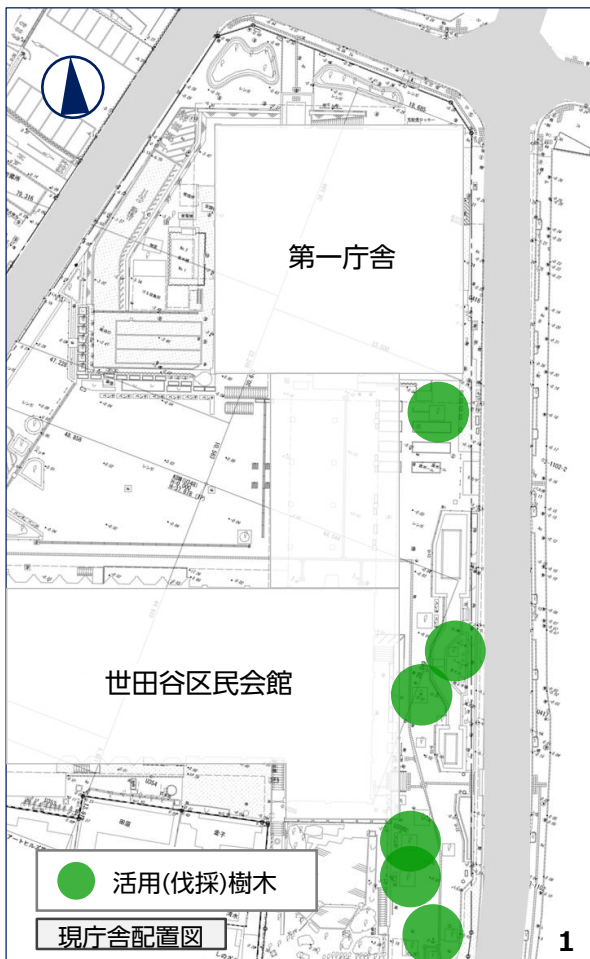
R3 ワークショップ①②③

R4 樹木等に関するワークショップ

R5 家具製作に関するワークショップ
家具等製作・新庁舎へ展示

↑
これまで
↓
今後

活用樹木(東敷地)

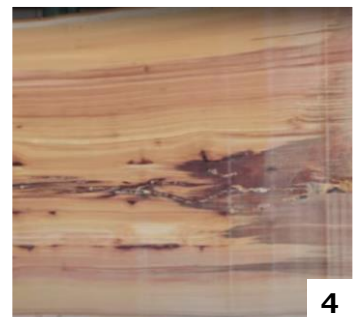


令和3年5月末から6月上旬にかけて、対象樹木(左図)の伐採作業を実施しました。

外観では腐朽が見られない樹木も、内部は腐朽が進んでいるものも一部ありました(写真4の濃茶部分は腐朽部)。

一方、材として活用できる箇所は製材し、活用を予定しています。

(東敷地:ケヤキ6本/西敷地:メタセコイヤ、ヒマラヤスギ、イイギリ、モミジ)



1…活用(伐採)樹木の位置図 2…けやきの伐採風景

3…伐採樹木の表面
4…製材樹木の断面

ワークショップのガイダンス

説明

本庁舎等整備の概要(区)と、ワークショップの目的と全体の流れ等(講師)を説明するとともに、伐採した樹木(活用樹木)の製材品を展示し、木の香りや手触りを体感しました。

また、各樹木の葉の標本や木々の説明、苗木の移植見本や苗木マーキング印を展示し、ワークショップのイメージを共有しました。



1



2



3



4



5



6



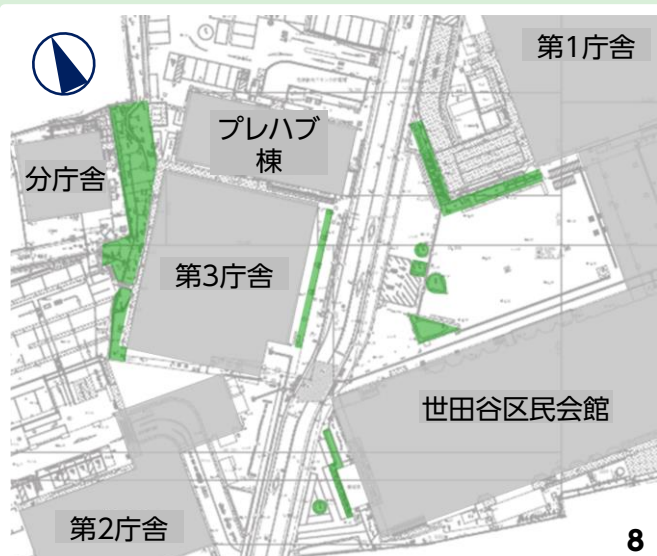
7

1…ガイダンスの様子 2,3,4,5…伐採樹木の製材品 6…伐採樹木の葉の標本 7…苗木の移植見本と苗木マーキング印

苗木マーキング作業

発見

苗木の採取前に、区役所敷地内(下図8)の苗木を見つける作業を行いました。参加者は苗木を見つけたら、苗木にマーキングし、他の参加者にも苗木を共有できるようにしました。



8



9



10

8…作業場所 9…苗木マーキング用の印 10…苗木をマーキングしている様子

苗木採取・移し替え作業

採取



湧口講師から
苗木の掘取・
植替方法を
レクチャー



土と根を
残して
慎重に
掘り取り

見つけた苗木を鉢に移し替えるにあたり、講師の湧口さんより、作業のガイドをしていただきました。

苗木の根を傷つけないよう注意しながらスコップを慎重に土に差し入れ、上手に掘り取り、大切に植木鉢に植え替えました。



根を傷つけないように
ゆっくり
移し替え



土が落ち
ないように
慎重に移動

合計50を超える様々な樹種※の苗木を採取しました。採れた苗木は参加者それぞれの自宅に持ち帰りました。上手く育ったら、新庁舎が竣工した際に植樹することも検討しています。



ケヤキと
スミレを
素敵に
寄せ植え

※苗木: ケヤキ②②、コノテガシワ⑩、ジンチョウゲ⑭、エノキ⑧、コナラ⑥、クスノキ⑤、ゲッケイジュ③、マンリョウ③、他 (○内の数字は採取本数)

製材作業



長さ 3,600mm

幹回 900mm

重さ 600kg超

伐採したケヤキを、参加者・区職員等で1日かけて製材しました。まず、金槌で叩き、樹皮を剥き、ケヤキを縦横に木挽きし、6つの材に製材しました。



みんなで樹皮剥き!



樹皮置き



力を合わせて木挽き!



大鋸

長さ90cmを超える大鋸おがを使って、親子で一生懸命、こび木挽きをしました。大人でも木挽き作業は一苦労。

最後の木挽は、3人で協力して作業。大人以上に活躍してくれました。



6



断面が湿ってる!

7

1…製材前の樹木 2…樹皮剥き後の樹木 3…樹皮 4,5,6…木挽作業の様子 7…製材した樹木の肌触りを確認

樹名板制作作業

伐採したケヤキの枝などを再利用して、
 いろんな形の樹名板を制作しました。
 制作した樹名板は、6/5に採取した
 苗木に設置しました。



苗木鉢に
設置



樹名板
完成!

〔樹名板のつくり方〕



1

切



2

削



4

付



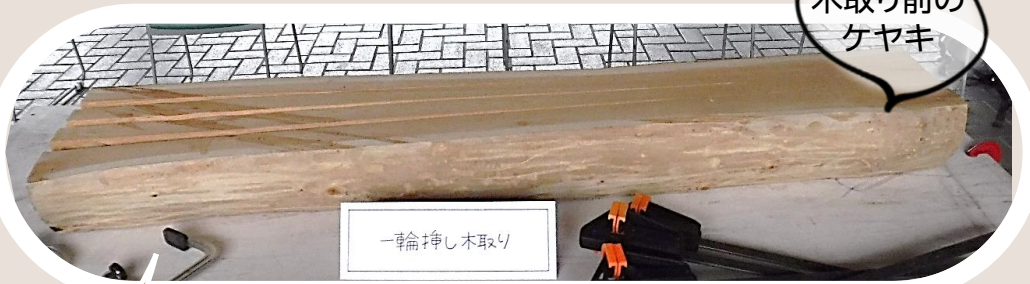
3

整

- 1 ... ケヤキ等の枝をノコギリで切断
- 2 ... 下部を土に挿しやすい形状に削る
- 3 ... 上部をヤスリで滑らかに整える
- 4 ... 名板をビスで取り付ける

木取り作業 (一輪挿し用)

伐採したケヤキの一部を
 一輪挿し用に木取りしました。
 参加者に持ち帰ってもらい、
 秋のWSまで、生木の乾燥
 具合を観察しました。



木取り前の
ケヤキ

一輪挿し木取り



ノコギリ
作業



木取り
完成!



R3秋のWSで
一輪挿しに
加工します!

一輪挿し制作ワークショップ③ (10月30日開催)

6月19日の製材ワークショップ時に木取りをした木材を参加者が持ち寄って、自由な形の一輪挿しを制作するワークショップを実施しました。

横長、縦長、台形、ひし形、球体など個性あふれる一輪挿しが30個完成しました。

制作した一輪挿しは、経験者の証として、来年度以降のワークショップにも持参いただきます。

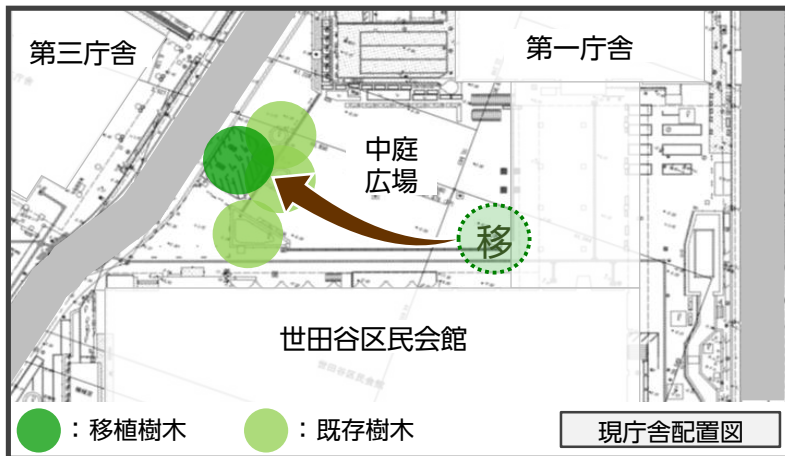


- 1 … 木取り材をノコギリで好みの長さに切断
- 2 … 鬼目ヤスリで粗めに形を調整
- 3 … 丸みをつけるため、体重を乗せたヤスリ作業
- 4 … キリで一輪挿し用の穴位置を表示
- 5 … インパクトドライバーで穴あけ

- 6 … 紙やすりで表面仕上げ
- 7 … 試験管に採取した草花を挿入
- 8 … 率先して掃除に協力
- 9 … 個性あふれる一輪挿しが30個完成

樹木診断の結果、「中庭広場のけやき」は移植が可能であることを踏まえ、移植準備作業に適した春先の令和2年3月に根回しを実施しました。

移植は、根回しから約1～2年後、休眠中の晩秋～早春の時期に行う必要があるため、工事工程と調整の上、令和3年11月に移植を行いました。



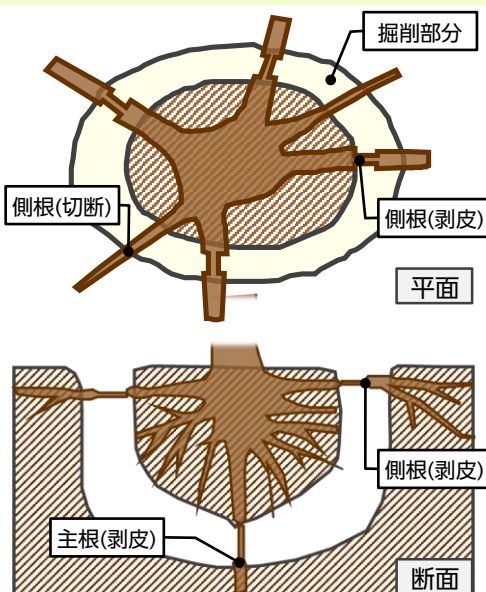
移植準備 (根回しなど)

令和2年3月

根回しは、樹木の周囲を掘って、大きい側根と主根を残し、その他の根を切り、細根を発生※1させ、移植を容易にするために行うものです。残した根は、発根を促すため『環状剥皮』を行います。

移植によって根の先端部を失っても、途中から新たな細根が出ることで、枯れる可能性が減ります。

※1 生命維持に必要な養水分を吸収する「細根」は主に根の先端にあり、大きな木ほど根が長く伸びており、幹から遠く離れた場所に細根があるため。



語源・由来

今では「ある事を実現しやすいように、あらかじめ周囲の各方面に話をつけておくこと。」の意味で使われる「根回し」は、この造園用語が由来です。

移植

令和3年11月

移植前のケヤキは、運搬・植付けのための剪定を行い、十分な根鉢が確保できるよう、掘削を行います。掘り取ったケヤキには、根の損傷防止・土の落下防止のため、麻布等で根鉢を作ります(この時のケヤキの重量はなんと20t)。その後、100tのクレーンとトレーラーで区民会館ホールの前を通り、第三庁舎の道路向かいに移植しました。工事エリアが限られているため、ケヤキの運搬は難易度が高い作業でした。

移植後のケヤキには、剪定による幹の日焼けを防ぐため、ケヤキの幹に麻布を巻きつけています。今後は、適宜、養生管理を行い、ケヤキの成長を見守ります。



1



2

▲ケヤキの根の様子



3

▲ケヤキ(20t)の吊り上げの様子



4

◀移植(剪定)前のケヤキの全景

移植完了▶



参加者の声!!



木挽きは
難しかったけど
良い思い出
になった

初めての
経験が
たくさんあり
楽しかった

木取りした
角材を
大切にします

生木の重さや
水分の含みに
驚きました



実生の
ケヤキ苗木が
たくさんある
ことに驚いた

木への
愛着が湧き、
見方が変わ
りました

木の赤ちゃん
(苗木)に
驚いた

樹木への
関心が深まり、
散歩が楽しく
なりました

プロジェクトメンバーの皆さん



令和4年度
からのご参加
大歓迎!

令和3年11月 発行
世田谷区庁舎整備担当部庁舎管理担当課
〒154-8504 世田谷区世田谷4-21-27
TEL:03-5432-2088 / FAX:03-5432-3006